

岩手教区報

第387号
 立教188年3月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



勇み心をもって学生を導こう

学生担当委員長 鈴木眞浩



阪神淡路大震災発生から今年で30年を迎えました。当時、天理教学生会委員長をつとめていた私は、その日の朝、天理市内の自室で寝ていましたが、生駒山方面から大きな地鳴りが近づいてきて、その地鳴りと共に大きな揺れに襲われたのです。突然のことですが、テレビで確認をしましたが、なかなか正確な情報が得られず、そうしているうちに揺り返しの地鳴りと共に多きな揺れが生駒山方向へ去っていききました。神殿に向かう神苑の砂利は、まるで日本庭園の枯山水のようきれいな波模様ができており、不思議な光景でした。

昼頃には、淡路島付近が震源地で神戸近郊は大惨事になっていくことが判明し、共に学生会活動を行っていた多くの仲間も被災しました。兵庫教区の学生会のメンバーと一緒に、何か所もの避難所を回って仲間の無事を確認し、「神様に救ってもらった」「信仰を同じくする仲間がいてよかった」と異口同音にたすけられた話を聞かせていただき、不思議なご守護の姿を目の当たりにしたのでした。

さて昨年11月、学生担当者大会において真柱様は「常に自分の信仰姿勢を振り返って見直しながら、努

力を重ねる皆さんの心意気が学生に伝わるとき、おのずと彼らの心にお道の人らしく生きていこうとする気持ちや、お道の人が「学生たちが、年祭を成人の一つの節目として希望を持って道を通り、陽気ぐらしの担い手に育つ日を楽しみに、焦らず、諦めず、勇み心をもって、しっかりと学生を導いてくれること」として学生層の育成に関わる者に対して、直接メッセージを下さいました。

教祖140年祭に向かう三年千日仕上げの年にあつて、身の周りに起こることや、見聞きする様々な事柄を真摯に受け止め、心に納めつとめさせていたいただきたいと思ひます。また、学生層にとつてもこの旬は、砂漠に水を撒くがごとく、様々なことを一気に吸収していきまします。だからこそ、親神様の御教えを丁寧になんて伝えていただきたいと思ひます。

さて、来たる3月28日、「立教188年春の学生おぢばがえり」が開催され、真柱様より学生に向けた指針をメッセージとして頂戴いたします。岩手教区学生担当委員会では、3月25日から29日にかけて団体を計画しております。一人でも多くの学生に声を掛け、おぢばにお誘いいただきたいと思ひます。



「かりものの身」

昨年10月末から今年1月までの3カ月間で、同級生、先輩、お世話になった先生、親戚など7名が相次いで出直された。身上はかりものである以上、いずれお返ししなければならぬとはいへ、さすがに寂しい限りである。

高校の同級生のお別れに行き、仙台で開業医をしている友人(30年くらい前に布教専従者研修会に講師として来てくれた)と一緒に亡き彼の髭剃りを手伝ってくれと言われ、二人で剃りながら、医者として自分は何も出来なかった、と悔しい思いを話してくれた。以前から彼の病状を聞き、治療方法について出来る限りの相談にのっていたのだが、治してあげることが出来なかったとのこと。医者が手術をし、治療しても、結局は身体の中から力の元に戻るだけだからね、と

も。話の流れで、かしの・かりものの話になり、興味深く聞いてくれた。というのも、彼は訪問診療の患者を30人程診ており、亡くなる方の看取りをすることも多く、その際、声を掛けてあげたくても言葉が見つからなかったが、「その話いいかも」と言ってくれた。彼はまた、「自分は信仰を持っていないけれど、信仰を持つている人は穏やかな亡くなり方をするように思う。特に終末医療には、病人の心に寄り添う加藤のような仕事が必要だ」と言われてしまった。

私たちの身体は、神様からの借り物とお教えいただくが、身体だけでなく身の周りのもの全てが借り物、お与えものである。神様から生を享けて親を与えて頂き、兄弟を与えられ、時間と共に知識を与えられ、仕事を与えられ、伴侶を与えられ、子どもを与えられ、立場を与えて頂く。はじめは与えて頂くばかりの人生だが、年を重ねて還暦を過ぎる頃から、今度はお返しの人となる。子ども(娘)を元の親に返し、立場を返し、仕事を返し、いづれ両親をお返しし、徐々に物忘れという形で知識も返し、最後に身体もお返しすることになる。

私たちは、物をお借りする時はもちろん御礼を言うが、お返しの際にはそれ以上に、それまで使わせていただいた御礼

の心を込めてお返しをする。私たちの身体も、お返しの時こそしっかりと御礼するのが本来の姿なのかもしれない。

岩手教区おぢばがえり

期間 5月24日～27日(3泊4日)
 団費 39000円
 宿泊 第38母屋
 人員 70人
 行程 24日 朝県内発↓夜おぢば着
 25日 回廊ひのきしん、懇親会
 26日 月次祭参拝、記念講演
 27日 朝おぢば発↓夜県内着
 ※詳細は募集チラシをご覧ください、4月10日迄に各支部長へお申込み下さい。

行事予定 【3月分】

- 1日 献血推進研修会(10時)
- ” 役員会議(11時)
- ” 少年会例会(17時)
- 9日 青年会ひのきしんデー(10時)
- 14日 青年会あらかじょうりよう塾 (於石川県16日)
- 15日 学生担当委員会例会 (19時30分)
- 16日 婦人会例会(10時)
- 22日 女子青年例会(10時)
- 30日 祭儀式勉強会(10時)



令和7年度 岩手教区行事予定

【教区・布教部・厚生部ほか】

- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー
- 5月24日 岩手教区おちばがえり(〜27日)
- 5月31日又は6月1日 ようぼく一斉活動日
- 7月13日 布教推進講習会
- 8月31日 教区献血ひのきしん
- 9月28日 全教一斉にをいがけデー(〜30日)
- 10月16日 剪定ひのきしん(〜17日)
- 11月1日又は2日 ようぼく一斉活動日
- 12月7日 献血呼びかけひのきしん
- 12月14日 雅楽初心者講習会
- 1月31日 祭儀式勉強会
- 2月1日 献血呼びかけひのきしん
- 3月1日 献血推進研修会
- 【婦人会】
- 10月19日 女子青年めんこいマルシェ
- 11月16日 教区みちのだい育み塾
- 【青年会】
- 6月28日 東北ブロック大会in岩手(〜29日)

- 10月25日 青年会総会後夜祭模擬店出店
- 12月13日 三年千日勉強会
- 3月8日 3・11ひのきしんデー(あの日を忘れない)

【少年会】

- 4月 教祖ご誕生まつり(各支部)
- 7月21日 少年ひのきしん隊教区練成会
- 7月29日 少年ひのきしん隊本部練成会(〜31日)
- 9月15日 わかぎの集い
- 11月29日 教区団おつとめ総会

【学生会・学生担当委員会】

- 8月 ワーク&トーク2025 in福島
- 9月15日 道の学生ひのきしんDAY
- 11月30日 育成に役立つプログラム
- 12月6日 学生の集い「まなびば」(〜7日)
- 12月7日 岩手教区学生会総会
- 2月 東北ブロックリーダー研修会 in山形
- 3月26日 教祖140年祭学生おちばがえり大会団体(〜30日)
- 【道の教職員の集い】
- 5月11日 総会
- 8月11日 夏の勉強会(〜12日)
- 10月5日 陽気フォーラム

【災救隊】

- 6月7日 教区訓練・九戸支部(〜7日)
- 11月16日 支部幹部研修会(支庁舎清掃)



青年会

「青年会ひのきしんデー」
「あの日を忘れない」

【3月9日】

未曾有の被害をもたらした東日本大震災から14年目の月を迎えました。時間の経過と共に、震災の記憶が薄れてきてないかを自らに問いながら、また多くの支えがあつての今であることを再確認しつつ、ひのきしんをさせていただきます。

青年会のみならず一人でも多くのご参加をお願い致します。

- 日時 3月9日(日) 10時〜12時
- 場所 大槌町浪板海岸
- 内容 ごみ拾い
- 携帯品 火ばさみ、長靴、軍手など
- 申込み 村松委員長迄



献血推進委員会

「献血呼びかけひのきしん」報告

教区献血たすけあいの会は、2月1日(土)、イオンモール盛岡において実施された、県赤十字血液センターの恒例行事「バレンタイン献血2025」に参加し、盛岡支部の教友3人が実動した。

当日はライオンズクラブ、岩手女子高等学校JRC部、盛岡市保健推進員協議会と共に、午前10時から午後4時半まで、それぞれ担当する出入口にプラカードを持って立ち、行き交う人々に献血を呼びかけた。今回はテナントの前に立たないで頂きたいなど、会場の方より注意を受け、例年以上に活動の難しさを感じた。血液センターから「献血者50人」との要望があり、他のボランティアの方々が帰ったあとも、時間ぎりぎりまで献血の呼びかけを行った。献血状況は49名が受付し、200ml1名、400ml44名という結果となった。



学生担当委員会

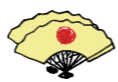
「春の学生おちばがえり」団体

来る3月28日、本部中庭において「立教188年春の学生おちばがえり」次代を担うようぼくへ(テーマ・心をつなぎ輪になって、喜びあふれる春学)が開催されます。

教区学生会・教区学生担当委員会では左記の日程で参加者を募集します、式典をはじめ、前夜祭等の行事に参加しますので、高校生、新高校生、大学生、専門学校生など多くの学生にお声がけ頂きますようお願いいたします。

記

- 3月25日 教務支庁出発(16時)
 - 26日 本部月次祭参拝、USJ
 - 27日 お楽しみ行事、回廊ひのきしん、前夜祭
 - 28日 式典、直属アワー、別席、おちば出発(21時)
 - 29日 教務支庁帰着(12時)
- ※詳細はチラシを参照して下さい。おちば管内の学生も参加可能です。



祭事部

「祭儀式勉強会」【3月30日】

教区祭事部は、来る3月30日(日)教務支庁を会場に「祭儀式勉強会」を左記の通り開催します。

今回は「基本作法」と立式による「みたまうつし」の祭儀式を中心に勉強します。なお、昨年本部より「葬儀の祭儀」が一部変更されました事も、反映した勉強会となります。各支部から一人でも多くの参加下さいますようお願いいたします。

記

- 日時 3月30日(日) 10時
- 会場 教務支庁
- 講師 鈴木眞理教区祭事部長
- 受講費 千円(昼食・テキスト代含む)
- 持ち物 笏板、覆面、筆記具
- 服装 ハッピー、足袋(タビックス可)
- 申込み 支部ごとに3月10日までに教区へお申し込み下さい。

